

2025年3月18日

宮城県仙台市におけるエレベーターの事故に関するご報告

コスモエレベーター株式会社

代表取締役 古川 貞雄

2024年1月16日に宮城県仙台市内の建物で発生いたしましたエレベーターの事故により、ご利用者様が負傷されたことにつきまして、心よりお詫びとお見舞いを申し上げます。また、関係者の皆様におかれましても多大なるご心配をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。

今回の事故に関し、現時点で判明している事実と弊社の対応について、下記の通りご報告いたします。

記

1 事故の概要

2024年1月16日、宮城県仙台市内の建物において、弊社が保守・点検業務を受託しているエレベーター（東芝エレベーター株式会社製）において、ご利用者様が1階で降車される際に、かごが戸を開いたまま上昇するという事象が発生し、ご利用者様が負傷されました。当該エレベーターには、戸開走行保護装置は設置されておらずでした。

2 原因について

国土交通省の事故調査委員会による調査の結果、ブレーキを制御する電磁接触器（BKおよびBKCC）の故障であることが確認されました。

詳細につきましては国土交通省の資料をご参照ください。

- ・宮城県仙台市内エレベーター事故調査報告書(概要) (PDF形式)
- ・宮城県仙台市内エレベーター事故調査報告書 (PDF形式)

3 事故調査への協力

弊社は、国土交通省の事故調査委員会に対し、全面的に協力してまいりました。原因究明のため、事故調査委員会からの要請に基づき、必要な情報・資料の提供、社員のヒアリングへの対応など、引き続き、誠実に対応してまいります。

4 弊社の対応

弊社は、今回の事故を重く受け止め、以下の対応を実施いたしました。

(1) 保守点検体制の強化

- ① 本件の該当機種（東芝製 CV200 シリーズ）はフェールセーフ設計に『該当』するとされておりましたが、本事故調査後に『非該当』に改められました。それに伴い電磁接触器の交換基準が新たに定められました。弊社といたしましては、新たな基準を遵守し適切に交換を実施してまいります。
※フェールセーフ設計とは、万が一故障が発生した場合でもエレベーターが安全な状態を維持するように設計された仕組みのことです。
- ② 同型のエレベーターについて、電磁接触器の交換状況を確認し、未交換のものはすべて交換を実施いたしました。なお、交換した電磁接触器（BKCC）は交換基準 20 年の製品となります。
- ③ 技術者に対する技術教育プログラムを改定し、技術教育を実施いたしました。
- ④ 全社員に対し、今回の事故を周知し、安全の重要性について改めて啓発活動を進めてまいります。

(3) 情報管理システムの構築と運用

全ての保守契約をいただいている昇降機について、製造業者が指定する交換基準、品名・交換履歴等を一元管理できるデータベース、および社内共有可能な管理システムを新たに開発し、運用を開始いたしました。

(4) お客様への対応

- ① 定期保守点検等で部品の交換が必要と判断した際は、交換の必要性和交換しない場合のリスクについて、お客様のご理解をいただけるよう丁寧な説明に努めてまいります。
- ② 製造業者から交換基準の変更等の情報開示がなされた際は、すみやかにお客様に情報提供を行います。

弊社は、社内における再発防止の取り組みを徹底、継続するとともに、負傷された方々に対し、誠意をもって対応させていただく所存でございます。

あらためまして、この度ご迷惑をおかけした皆様方に深くお詫び申し上げます。

以 上